

令和元年度 社会福祉法人美々川福社会事業報告

【 1. 法人の概要 】

《法人所在地》 北海道苫小牧市字美沢193番地1
 電話 0144-58-2435
 《名称及び代表者》 社会福祉法人美々川福社会 理事長 中村 憲郎
 《設立年月日》 昭和54年12月10日

【 2. 法人の行う事業 】

種類及び名称	施設長名	利用定員	職員数
(1) 第1種社会福祉事業 (ア) 障害者支援施設 美々川福祉園 (苫小牧市字美沢193番地1) ①施設入所支援事業 ②生活介護事業	村井 慶孝	30名 40名	22名
(2) 第2種社会福祉事業 (ア) 障害福祉サービス事業 美々川福祉園(短期入所) (苫小牧市字美沢193番地1) ①短期入所事業	村井 慶孝	4名	
(イ) 障害福祉サービス事業 美々川デイセンター (苫小牧市字美沢193番地1) ①就労継続支援B型事業 ②生活介護事業 ③就労移行支援事業	田川 儀浩	20名 26名 6名	18名
(ウ) 障害福祉サービス事業 美々川エコ (苫小牧市新明町5丁目29番地) ①生活介護事業	田川 儀浩	20名	9名
(エ) 障害福祉サービス事業 共同生活援助ウイング (苫小牧市字美沢193番地1) ①共同生活援助	村井 慶孝	34名 市内12箇所	29名
(3) 収益事業 (ア) 不動産貸付業 (苫小牧市明野新町5丁目13番20号)			
	合 計	180名 (定員合計数)	78名

職員数は 令和2年3月31日現在(兼務職員含む)

【 3. 役員 の 状 況 】 定 数 理 事 6 名 監 事 2 名

令 和 2 年 3 月 3 1 日 現 在

職 名	氏 名	当 初 就 任 年 月 日	職 業
理 事 長	中 村 憲 郎	平 成 2 3 年 4 月 1 日	会 社 役 員
理 事	大 塚 登 志 樹	令 和 元 年 6 月 1 9 日	法 人 役 員
理 事	加 藤 敏 美	平 成 1 5 年 1 2 月 2 0 日	部 長
理 事	栗 原 睦 子	平 成 2 1 年 1 2 月 1 0 日	法 人 役 員
理 事	村 井 慶 孝	平 成 2 9 年 4 月 1 日	施 設 長
理 事	田 川 儀 浩	平 成 2 9 年 2 月 1 日	施 設 長
監 事	菅 原 正 樹	平 成 2 3 年 1 0 月 2 2 日	法 人 役 員
監 事	樋 口 雅 裕	平 成 2 6 年 3 月 2 7 日	会 社 役 員

【 4. 評 議 員 の 状 況 】 定 数 1 2 名

・ 石 田 浩 晃	・ 大 下 勲	・ 大 沼 徹	・ 小 林 勲
・ 齋 藤 謙 吉	・ 佐 藤 裕	・ 澤 田 周 一	・ 津 田 勝 利
・ 三 上 稔	・ 宮 本 知 治	・ 矢 嶋 翼	・ 山 口 昭 悦

【 5. 評 議 員 会 の 開 催 状 況 】

開 催 日	主 たる 議 題
令 和 元 年 6 月 1 9 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平 成 3 0 年 度 決 算 報 告 ・ 監 査 報 告 の 承 認 と 事 業 報 告 及 び 外 部 監 査 報 告 に つ い て ・ 理 事 6 名 ・ 監 事 2 名 の 選 任 に つ い て ・ 評 議 員 選 任 ・ 解 任 委 員 会 の 審 議 結 果 に つ い て ・ 社 会 福 祉 充 実 残 額 の 算 定 結 果 に つ い て ・ 美 々 川 エ コ 機 能 整 備 ・ ウ イ ン グ 地 域 支 援 拠 点 整 備 事 業 に つ い て ・ 菌 床 椎 茸 事 業 に つ い て
令 和 元 年 1 2 月 1 3 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 美 々 川 エ コ 機 能 整 備 ・ ウ イ ン グ 地 域 支 援 拠 点 整 備 事 業 に つ い て ・ 法 人 創 立 4 0 周 年 記 念 事 業 に つ い て

【 6. 理事会の開催状況 】

開催日	主たる議題
令和元年 5月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度 事業報告・決算報告・監査報告の承認と外部監査報告について ・令和元年度 第1次補正予算案について ・令和元年度 定時評議員会の招集について <ul style="list-style-type: none"> (1) 日時・場所について (2) 議事に付すべき事項 <ul style="list-style-type: none"> ①平成30年度決算報告・監査報告の承認と事業報告及び外部監査報告について ②理事6名・監事2名の選任について ・令和元年度 第2回理事会の招集について ・美々川エコ機能整備・ウイング地域支援拠点整備事業について ・法人創立40周年記念事業に係る委員会の設置について ・理事長の職務執行状況報告について ・社会福祉充実残額の算定結果について ・公益財団法人 出光文化福祉財団 社会福祉助成金の事業完了について ・共同募金助成申請の審査結果について ・平成30年度社会福祉施設整備事業に係る補助金の交付の決定について ・平成30年度北海道胆振東部地震に係る社会福祉施設等設備災害復旧費補助金に係る補助金の額の確定について ・事業所状況について
令和元年 6月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・会長の選任について ・理事長の選定について ・理事長職務執行状況について ・理事6名・監事2名の選任結果について ・美々川福社会組織機構図について ・美々川エコ機能整備・ウイング地域支援拠点整備事業について
令和元年 8月 8日	<ul style="list-style-type: none"> ・諸規程の一部改正案について ・令和元年度 第2次補正予算案について ・理事長の職務執行状況報告について ・大友福祉振興財団助成金交付申請について

<p>令和元年12月13日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度 第3次補正予算案について ・就業規則の一部改正案について ・理事長の職務執行状況報告について ・北海道胆振総合振興局 実地指導の結果について ・労働基準監督署 労働条件に関する調査結果について ・公益財団法人 日本財団 助成金申請について ・公益財団法人 大友福祉振興財団 助成金の承認と事業完了について ・平成30年度社会福祉施設整備事業費補助金の事業完了について ・美々川エコ・機能整備・ウイング地域支援拠点整備事業について ・法人創立40周年記念事業について ・事業所状況について ・監事監査報告について
<p>令和2年 3月27日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・美々川エコ機能整備・ウイング地域支援拠点整備事業の実施に向けて ・令和元年度 第4次補正予算案について ・令和2年度 事業計画案について ・諸規程の改正案について ・評議員選任・解任委員の退任及び選任について ・令和2年度 美々川福祉会組織機構図案について ・令和2年度 当初予算案について ・理事長の職務執行状況報告について ・新型コロナウイルス感染症対策について ・公益財団法人 日本財団 助成金の承認及び完了について ・共同募金「施設活動支援事業」助成の申請について ・法人創立40周年記念事業について ・事業所状況について ・監事監査報告について

【7. 監事監査実施状況】

開催日	主たる監査内容
令和元年 5月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度3月分社会福祉事業区分・収益事業区分会計監査、入所者預り金管理状況及び法人・施設運営状況 ・平成30年度業務報告等 ・平成30年度計算関係書類及び財産目録
令和元年 7月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉事業区分・収益事業区分会計状況(平成31年4月～6月) ・入所者預り金管理状況、法人・施設運営状況
令和元年10月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉事業区分・収益事業区分会計状況(令和元年7月～9月) ・入所者預り金管理状況、法人・施設運営状況
令和2年 1月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉事業区分・収益事業区分会計状況(令和元年10月～12月) ・入所者預り金管理状況、法人・施設運営状況
令和2年 3月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉事業区分・収益事業区分会計状況(令和2年1月～2月) ・入所者預り金管理状況、法人・施設運営状況

令和元年度 事業報告

I 法人全般

1. 法人をとりまく状況

昨年末に発生した新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に世界中に伝播し終息の見えない未曾有の混乱を引き起こしている。国内においても感染拡大の抑止に向けた様々な社会的制約や活動の自粛により、これまでの当たり前の日常が変容しつつある。事業運営においても少なからず影響が及んでおりサービス内容の見直しをはじめ、感染の拡がりを想定した備えが優先的な取り組み課題となっている。先行きの見えない感染症の拡散は、今後益々その深刻さを増す事が想定される事から、新年度においても最優先の取り組み課題としてゆきたい。

各事業所における共通課題となりつつある高齢化や利用者ニーズの多様化の課題について、その対応の在り方や手続きへの議論を進めた。今後も一層のスピード感をもって進んでゆくことが想定されるこれらの課題に向けては、新年度以降に「事業所・事業再編」として取り組みを進める事とした。また、新事業体系導入後に取り組んできた各事業について、将来的な事業への社会的要請を見極め、改廃を含めた見直しを進めたい。事業開始以来40年を経過し、利用者の世代も10代の若年層から80代の老年層に及ぶ幅広い世代で構成される時代を迎えた。世代の多様化に留まらず利用ニーズの多様化を必然として受け止め、多様化したニーズの受け皿となりうる事業の確立に向け、具体的に取り組むを進めたい。

今年度は胆振東部地震からの復旧を事業運営の大きなテーマとする1年となった。最も被害が集中し施設・設備の全損被害が発生した菌床事業は就労部門における基幹となる種目であった事もあり、栽培体制の全面更新に多くの時間と費用を要する事となった。今年度はこれらの手続きを経て、新たな栽培システムによる生産体制をスタートさせる年となったが、栽培体制への不慣れもあり運用面からの課題が散見される事となった。これらの課題もあり、目標とする生産性の確保には至らず、新年度に課題を残す結果となった。新年度においては、目標への強いこだわりと、結果を優先した取り組みへの転換を課題としたい。

事業運営の普遍的な課題である「安全と安心」の提供を図るべく1年が経過した。新年度に向けても「安全と安心」に回帰し取り組みを進めたい。

2. 法人の基本方針

令和元年度は5つの基本方針を掲げ取り組みを進めた。

法人の基本理念となる「個人の尊厳の保持と自立した生活に向けての支援の実践」については個別の利用者ニーズに基づくサービス提供に努め、「サービス会議」による多面的な評価の機会を通し、利用者の意思に基づくサービスの提供に努め、サービスの質の向上を図った。

「コンプライアンスの高い倫理性に基づく法人経営」については、法令遵守として最も優先度の高い利用者の人権に関わる虐待防止、権利擁護への意識の醸成に努め、研修等の機会を通し認識の共有化を図った。また、法人理念をはじめとする各規程への理解を求め、会議等の機会を通し、その取り組みを進めた。

「常に高い専門知識と技術の研鑽に努め、サービスの質の向上を追求する施設経営」については、多様化が進む利用者ニーズには高い専門性に基づく支援が求められる事から内外での研修等の機会を通し、その専門性の獲得に努めた。

「安定した財政基盤の確立とその事に基づいた健全な施設経営」については、利用者数も概ね安定し収入面での安定感は維持された。今後の更なる健全経営に向け、事業の統合・廃止も含む再編を進める事としたい。

「地域における様々な福祉ニーズに対する公益的事業への取り組み」については、これまでと同様地域の一員として季節の行事等を通し交流の機会としてきた。また、災害の頻発等を踏まえ地域にける社会資源としてその機能を還元すべく機能の整備を図り、地域連携に向けた体制作りを進めた。

3. 重点事業

(1) 地域生活支援体制の整備に向けて

共同生活援助ウイングでは利用者の増加、在宅利用者を中心とした潜在的ニーズの受け皿として体制の整備が求められて来た。この事からこれまで内部での検討を重ね、令和2年度事業として整備を完了する事とした。令和3年度運用開始に向けこれまで課題としてきた支援の即応性、効率性の向上に向け、運用面での課題を整理し準備を進めたい。

(2) 通所事業における事業所機能の整備に向けて

美々川エコの経営上の課題としてきた、利用上限による利用者受け入れ

に向けては、事業所機能の整備が求められる事から、整備の在り方について検討を進めてきた。整備の必要性について確認された事から、令和2年度事業として整備を完了する事とした。経営の更なる安定化に向け整備事業の効果を最大限のものとし、経営の効率化に結び付けてゆきたい。

(3) 法人創立40周年に向けて

令和2年度に迎える法人創立40周年に向けては、4月に利用者を対象とした祝う会を、また6月に法人内の祝う会を実施する事として準備を進めてきたものの、新型コロナウイルスの感染拡大に終息の気配が見受けられない事から、社会的状況も踏まえ両行事共に当初計画を大幅に見直す事とした。

(4) 高齢者支援の今後について

高齢者支援の在り方を、今後の事業運営における優先的取組課題とし、様々な視点から検討を進めてきた。事業所開設以来40年を経過し入所施設における課題としてきた高齢者支援の課題は、全事業所に共通する課題となっている。各事業における高齢化を背景とする多様なニーズに対応すべく、社会的資源との連携を模索し具体的な取組への反映を急ぎたい。

(5) 災害時体制整備と地域連携について

一期目の整備事業として3ヶ年の整備計画を終えた事から、整備内容を検証し再整備を進めた。対象者となる利用者も年々増加してきており、また生活領域も広域化してきている事から、即応性の確保等、新たな課題への取り組みが求められた。地域との連携については近隣地域に向けた災害時支援体制の整備に向け取り組んだ。主に地域に居住される高齢者の方々へ向け災害時の安否の確認、食糧等の提供を行う事とし整備を進めた。

Ⅱ 支援事業

1. 支援事業をとりまく状況

本年度は、法人創立以来40年を迎える事となり、施設開設当初は課題としていなかった利用者の方々の高齢化、また知的障害だけでなく発達障害等の障害の重複や重度化等、利用ニーズの多様化が顕著となる中、適切なサービス提供のあり方を課題とし、各事業所の取り組みを進めた。

入所事業においては、高齢化や障害の重度化が進み、生活上の介護的支援が増加している状況にあり、日中の支援メニューにおいて予防介護を前提とした、生活の質を維持する支援に取り組み、個々の障害特性に応じた支援を行った。また、年齢の高くなられた利用者の方の将来を見据えた支援の中で、様々な社会資源との連携を模索し、多様な選択肢の確保と提供に努めた。

通所事業においては、一昨年発生した胆振東部地震による菌床椎茸事業における施設・設備の全損被害が発生し、その立て直しを優先課題として取り組んできたが、新規の栽培体制の中で試行錯誤を繰り返しながらの取り組みとなり、結果として事業目標の達成には至らず、課題を残す形となった。新年度においては、1年間の経験を生かし、目標の達成に対する取り組みを進めたい。また、利用者の方の高齢化、重度化、障害の多様化が通所事業においても進んできており、個々の利用ニーズに応えうる日中支援の展開と整備が課題となった。もう一つの収益事業となる美々川せっけんについては、消費税の増税を受け販売価格の見直しなどにも取り組んだが、販売上の影響も最小限に留まり、当初の予定通りに事業運営を終えた。今後も、生活介護事業の機能を維持しつつ、工賃還元の向上にも積極的に取り組みたい。

地域生活については、在宅利用者の地域移行のニーズの高まりを受け、受け皿としての機能整備が課題となっており、地域支援拠点整備事業としての整備を進める議論を深めてきた。令和3年度の運用開始に向け、課題への取り組みを進めてゆきたい。

(1) 障がい者支援施設 美々川福祉園

利用者の方の高齢化と障害特性の多様化に向けた対応を課題とし、支援を行った。高齢化に向けては、予防介護の視点を持って臨み、多様化した個々のニーズに対しては、個々の支援計画に基づいた個別の対応を実践した。

また、様々な社会資源との連携を図り、利用者の方に多様な選択肢をご提案出来る様、相談支援事業所等との関係調整を図った。

事業	生活介護事業	利用定員	40名
	施設入所支援事業		30名
	短期入所事業		4名
職種	管理者（兼務）		1名
	サービス管理責任者		1名
	生活支援員（兼務含む）		16名
	看護職員（兼務）		1名
	栄養士		1名
	事務員		2名
業務委託	管理棟清掃等		
就労支援事業収入	420,000円		

（2）障がい福祉サービス事業所 美々川デイセンター

日中事業の柱としている菌床椎茸事業が、一昨年発生した胆振東部地震により甚大な被害を受けたことから、その立て直しに取り組んできた。新年度は新たな栽培システムの中で試行錯誤する中、十分な成果をあげるに至らなかったことから、次年度の取り組みにおいてこれまでの経験を活かし、成果に繋がるよう努めたい。また、利用者ニーズの多様化に対し、多機能型事業所としての特色が打ち出せる支援体制の確立を目指し事業に取り組む、利用者ニーズに基づく再編に向け、次年度に繋がる準備を行えた事から、継続して具体的な取り組みを進めてゆきたい。

事業	生活介護事業	利用定員	26名
	就労継続支援B型事業		20名
	就労移行支援事業		6名
職種	管理者（兼務）		1名
	サービス管理責任者		1名
	生活支援員（兼務含む）		10名
	職業指導員		2名
	就労支援員		1名
	看護職員（兼務）		1名
	事務員		2名
生産品	菌床椎茸・干椎茸・ハスカップジャム・ゼナック		
就労支援事業収入	23,011,852円		

(3) 障がい福祉サービス事業所 美々川エコ

「美々川せっけん」を生産する活動を主な支援メニューとして取り組み、安定した事業運営の実践により、工賃還元の向上にも寄与できた。日中活動において、作業に特化した活動のみを行うのではなく、個々の利用者の方に対するニーズに沿った支援を目標とし、身体機能の維持や向上に関する支援にも取り組んだ。

大きな課題としてきた活動スペースの確保について、隣接地での再整備事業の準備を進め、次年度に向けた具体的な取り組みを行った。

事業	生活介護事業	利用定員	20名
職種	管理者（兼務）		1名
	サービス管理責任者		1名
	生活支援員（兼務含む）		6名
	看護職員（兼務）		1名
生産品	美々川せっけん、美々川せっけんオレンジ		
就労支援事業収入	20,038,973円		

(4) 共同生活援助 ウイング

在宅利用者の潜在的なニーズから、地域移行者が増加する見通しにある。これらの受け皿となる地域における支援の即応体制の整備、夜間支援体制の確保を課題とし、美々川エコの隣接地に取得している用地において、具体的な運用の検討を行う事としたい。地域支援拠点整備事業の準備を進め、今年度の取り組みを継続しながら、令和3年度の運用開始に繋げたい。

事業	共同生活援助	利用定員	34名
職種	管理者（兼務）		1名
	サービス管理責任者（兼務含む）		2名
	生活支援員（兼務含む）		7名
	世話人		19名